

八代市



中村 博生 市長

第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「Society5.0」の実現に向けた動きや、AIやICTをはじめとする先端技術の活用とともに、制度や政策、組織の在り方なども変革していく、本市全体のデジタル・トランスフォーメーションとも連動し、地域課題の解決を図り、また、「SDGs」の理念を踏まえ、誰1人として取り残さない持続可能なまちづくりを進めてまいります。

寄付御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額200万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄付額100万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
- ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口	面積	産業構造	交通アクセス
総人口……123,067人 男……57,298人 女……65,769人 世帯数…49,204世帯	総面積……681.36km ² 農用地…70.70km ² (10.4%) 森林 500.97km ² (73.5%) 宅地…27.65km ² (40.6%)	第1次産業…17,054(3.8%) 第2次産業 142,157(31.3%) 第3次産業 294,738(64.9%) <small>生産総額:百万円</small>	■八代市役所まで 九州自動車道 八代ICから…約5.6km JR 八代駅から…約2.3km JR 新八代駅から…約4.0km
人口構成比	教育機関	高等教育機関	
15歳未満……12.0% 15～64歳……53.4% 65歳以上……34.6%	小学校……24校 中学校……16校 高等学校・高専…10校 大学・専門学校他…6校	熊本高等専門学校／熊本県立八代高等学校 熊本県立八代工業高等学校 熊本県立八代清流高等学校 熊本県立八代農業高校／熊本県立八代農業高校泉分校 熊本県立八代東高等学校 秀岳館高等学校／八代白百合学園高等学校 熊本県立鏡わかあゆ高等支援学校	



※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」2021年度～2024年度

人と企業に選ばれるまち

- 1 基本目標** 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
多様な担い手による防災の推進。防災・減災のための基盤整備。先進技術を活用した防災・減災の推進。
- 2 基本目標** 稼げる農林水産業の推進
スマート農林水産業の推進。新規就農者に対する支援。農林水産物のブランド確立・販路拡大。
- 3 基本目標** 南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進
航路誘致へのポートセールスと八代港を活用する企業の誘致。くまモンポート八代の利用促進。クルーズ船による地域の活性化。
- 4 基本目標** 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり
結婚・妊娠期から子育て期にわたる包括的な支援体制の充実。子育て世帯の経済的負担の軽減。子育て世帯の精神的負担の軽減。



八代市

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1
課題
災害対策・防災

災害に強く安心して暮らせるまちづくり

防災人材の確保・育成、防災協力企業等の確保、多様な避難先の確保、各地域を結ぶ道路網の強靱化、地域イントラの冗長化、ICTやAIを活用した防災情報の発信・収集体制の構築、防災への新たな技術の導入促進などが必要。

企業様へ

本市の災害対策・防災に関する取り組みに対しまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等を是非お聞かせください。



令和2年7月豪雨

2
課題
観光客の誘致・地域PR

稼げる農林水産業の推進

農林水産業への先端技術の導入支援、AIを活用した出荷予測による戦略的な生産・販売の推進、多様な農業形態に応じた就農支援、民間ECサイト等のITを活用した販路の開拓、消費者ニーズを踏まえた新商品開発などが必要。

企業様へ

本市の「稼げる農林水産業」の取り組みに対しまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等を是非お聞かせください。



ゆず収穫体験(体験型観光)

3
課題
産業振興・企業誘致

南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進

企業訪問等によるポートセールス、八代港を活用する企業の誘致、くまモンポート八代でのイベント開催や誘致による利用促進、くまモンポート八代周辺施設との連携事業、広域連携による周遊ルートの開発及びPR活動などが必要。

企業様へ

くまモンポート八代を利活用し、クルーズ船の受入れ等による市内全域の活性化を目指します。企業様のアイデアやノウハウ等を是非お聞かせください。



クルーズ船寄港

4
課題
過疎対策・定住移住

安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

結婚の希望をかなえる支援体制の充実、子育て世代包括支援センターによる支援体制の強化、ICTを利用した相談体制及び情報発信の強化、充実したこども医療費助成の実施、第三子以降の保育料及び副食費の無料化の実施などが必要。

企業様へ

結婚・子育てに対するあらゆる支援の充実が必要不可欠です。本取り組みに対しまして、企業様の様々なアイデアやノウハウ等を是非お聞かせください。

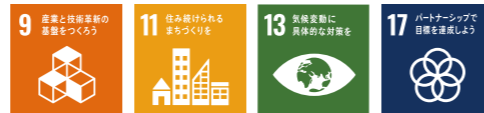


市街地の公園

重点プロジェクト

住みたいまち

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 寄附目標額
数値目標

- 住み続けたいと思う市民の割合 …… 76.8%→80.0%
- 人口社会増減率 …… △0.26%→△0.20%

背景・現状の課題

本市の人口動態は、外国人労働者の転入超過により社会増となつてはいるものの、人手不足の状況の中で、多くの若者が進学や就職の機会を捉え市外へ流出しています。活気あふれる地域をつくるためには、若者等の定着・移住を促進するとともに、関係人口の創出など人口減少時代に対応した持続可能なまちづくりを推進する必要があります。



八代市全域

災害に強く安心して暮らせるまちづくりを行うほか、自治体のスマート化を推進するとともに、地域資源を活かした多様な交流を実現します。

事業の目的・内容

- 1、災害に強く安心して暮らせるまちづくり
 - ①多様な担い手による防災の推進 ②防災・減災のための基盤整備
 - ③先進技術を活用した防災・減災の推進
- 2、全ての人が利便性を享受できるデジタル化の推進
 - ①交通・決済等の生活面におけるデジタル化の推進
 - ②いつでも・どこでもつながる市役所づくり
 - ③先進技術による庁舎内業務の効率化
- 3、地域資源を活かした多様な交流の実現
 - ①スポーツを活かした交流人口の拡大 ②歴史・文化を活かした交流人口の拡大
 - ③多文化共生のまちづくり ④物産をきっかけとした魅力向上

災害に強く安心して暮らせるまちづくり、全ての人が利便性を享受できるデジタル化の推進、地域資源を活かした多様な交流の実現等、若者等の定着・移住を促進するとともに、関係人口の創出など人口減少時代に対応した持続可能なまちづくりを推進する事業。



多文化共生教育の推進

寄附の具体的なメリット

10万円～市ふるさと納税HPへの記事掲載
100万円～市広報誌への記事掲載
200万円～感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)
※寄附企業様とのご縁を大切に参ります。

寄附申出書の事業名選択時は「住みたいまち」を選択してください。

重点プロジェクト

働きたいまち

〈SDGs〉関連するゴール



総事業費 寄附目標額
数値目標

- 若者・子育て世代が5年後に帰ってくる人数 …… 351人→360人
- 事務職・IT関連職の求人倍率 …… 0.38%→0.50%

背景・現状の課題

若者を中心に、多様な世代にとって、キャリアアップにつながる学びややりがいのある魅力的な雇用機会を創出することに加え、地域企業の強み等を活かした成長を支援し、挑戦する人と企業を応援するまちづくりを推進します。



八代港コンテナヤード

日本一のトマトの生産量を誇るなど本市の基幹産業である農林水産業の生産性・収益性向上への支援、南九州のゲートウェイである八代港の利用促進等を通じて、地域の稼ぐ力を高めます。

事業の目的・内容

- 1、挑戦する人と企業を応援するまちづくり
 - ①中心市街地を核としたICT産業の集積と人材の育成
 - ②関係人口の創出・拡大とUIターン受入れ ③地域企業の成長支援
- 2、稼げる農林水産業の推進
 - ①スマート農林水産業の推進 ②新規就農者に対する支援
 - ③農林水産物のブランド確立・販路拡大
- 3、南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進
 - ①航路誘致へのポートセールスと八代港を活用する企業の誘致
 - ②くまモンポート八代の利用促進 ③フルーズ船による地域の活性化

挑戦する人と企業を応援するまちづくり、稼げる農林水産業の推進、南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進等、若者や女性をはじめとした多様な世代にとって、キャリアアップにつながる学びややりがいのある魅力的な雇用機会を創出することに加え、地域企業の強み等を活かした成長を支援する事業。



空き店舗を活用したICT人材研修

寄附の具体的なメリット

10万円～市ふるさと納税HPへの記事掲載
100万円～市広報誌への記事掲載
200万円～感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)
※寄附企業様とのご縁を大切に参ります。

寄附申出書の事業名選択時は「働きたいまち」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。